

ピースあいち・  
メールマガジン50号  
2014年1月号  
「所蔵品から」画像

・歯痛液







- ・齒磨き粉
- ・齒痛液説明書

**資生堂齒磨(粉末)の特長**

口の内で唾液と混じ一種のクリーム状となり、これが齒の隅々にまで万遍なく滲みわたつて食物の残渣を完全に吸着除去します。

従つて、少しも垢質をいためる虞れなく口内清掃の役割を果たします。しかも、香味には特に注意を拂ひ、どなたからも等しく御愛用願へるやう留意してあります。

はり長く切毛抜毛のそれなく永持ちのす最良の齒刷牙です。子用・婦人用兼用各種あります。

**金十五銭**

東京都京橋區銀座西七丁目三ノ五 株式会社 資生堂

いたみのすぐとまるハグスリ

**齒痛液** SHITSU DEKI

齒痛液は現代齒藥の精粹ともいふべき藥品使用の處方により製したるを以て齒の痛止に必要な諸作用を悉く完全に具備せる關係上簡易に正確に治療する事の出来る最も權威あるハグスリであります

**効能**

のぼせ齒、むし齒、口熱

**用法用量**

一、二滴脱指綿に浸し患部に挿入す

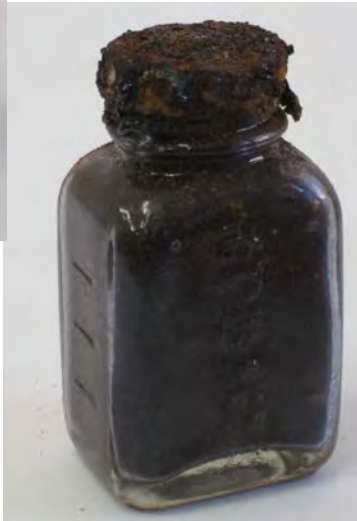
ハグスリの特効藥、奇妙膏 本舗

名古屋市西區稻生町一丁五反八九二ノ一  
**福永商店製藥部**  
 責任製劑者 福永正也  
 振替口座 〇〇〇〇〇〇二二六五番

**養生法**

凡て齒痛は過熱、過冷、の飲食物を攝取する時其の刺激により發するものなれば良く注意して過熱、過冷、のもの避け酒類を禁じ便通をよくし又肩の藥より來ることあるものなればあまり細き手仕事等をして肩を凝らせぬ様注意して下さい





- ・みづほ染め粉
- ・ハリバ軟膏





(性酸) 料染ほづみ (性物動) 用物織絹・糸絹物織毛・糸毛

すまりま染 { 反 半 一 地 生 白 } で瓶一  
 反 六 一 げ 上 色  
 友 十 六 一 糸  
 ( 瓦 五 二 二 )

正しい染め方

<p>四、湯沸し</p>  <p>染める器は染める品物かゆつたりはいる様成るべく大きな器を選び半分程水を入れて熱湯になる迄沸しします(トタン引の器は使つてはいけません)</p>	<p>三、染める布の下拵</p>  <p>布地一反につきマルセル石をコトヒ匙三杯の割合に入れた薄い液の中で布を浮かさない様にして煮て後、良く水洗して温湯に浸けて置きます。新しい布でもマルセル石で煮ておくとうよらしい。</p>	<p>二、洗 濯</p>  <p>染めるものは石鹼でなるべく可呼に洗濯し良く水洗して置きます。</p>	<p>一、生地の見分け方</p>  <p>絹(絹糸、絹布)羊毛(モスリ、毛糸、ムルトン、サージ、セル)山羊毛(カンミヤ)駝毛、兔毛(フワ)等は絹糸と絹糸を別々に置いて見ますと後の毛を焼く様な悪臭がして先がチツリしますから動物性繊維です。(紙を焼く様な臭がして灰が白くなりましたら植物性繊維です)</p>
<p>八、助剤の加へ方</p>  <p>助剤は染料を良く吸収させ爲に是非必要なものです。多く入れ過ぎると、ムラが出来易いからです。適量を加へる事が大切です。布地一反につきみつは完染剤一瓶を加へ(食酢にてもよろしい)。(四)の残りの染料も加へます。(木綿類には食塩を用います。)</p>	<p>七、染め布の入れ方</p>  <p>(四)の染液の中へ(五)の良く温湯に浸した布地を端の方から手早くたぐり込み、竹箸で布地を横けながら、染液の中へ全部繰り込み十分間位染めます。</p>	<p>六、染液の作り方</p>  <p>(四)の湯沸ししてある中へ(五)の溶かした染料を半分程加へ、良く攪拌しながら八分目迄位水を加へます。残りの半分位の染料は助剤と共に加へます。</p>	<p>五、染料の溶かし方</p>  <p>湯呑又はコーヒ茶碗の様な物へ必要量の染料を入れて熱湯を器の八分目迄加へて良く攪拌して溶かします。</p>
<p>はに色染御の麻・スス・絹人・綿木を料染ほづみ接直</p> <p>はに維織性物動の類毛・絹を料染ほづみ性酸</p> <p>はに維織織混の性物動・性物植を料染ほづみ織混</p>	<p>十一、仕上げ</p>  <p>布地は(糸類は別)染めた儘では光澤がありませんから、裏面からアイロン(縮緬類は湯熨斗)を掛けますと見違える程綺麗に仕上がります。</p>	<p>十、水 洗</p>  <p>総て染め上げた物は良く冷やしてから、入念に何回も水洗し、蒸干にして乾かします。</p>	<p>九、無 方</p>  <p>温度を七、八十度(卵の半熱になる温度)で約十分間位煮染めして布地を一且取出して(四)の残りの染料を加へ(五)の助剤を加へて良く攪拌して、再び染め布を入れて三十分間位煮沸します。布地が液面に出ない様にして絶えず静かに竹箸で充分かきまぜます。</p>







